

つなげよう、育てよう、活かそう“さくらおろち湖”

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 第3回委員会

資料—2

第2回委員会以降の取組経過の報告

1. 第2回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の開催報告
2. さくらおろちを活性化する会の活動報告

平成26年12月15日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

1. 第2回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の開催報告

1) 第2回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

- 1 開催日時 : 平成 25 年 11 月 11 日 (月) 15:00~16:30
- 2 場 所 : 尾原ダム管理支所 (島根県雲南市木次町 211-5)
- 3 出席委員 : 速水雄一委員長、勝部博委員、石原肇委員、田部英年委員、井上勝博委員、米田文夫氏 (三上康則委員代理)、瀧本孝志委員、舘健一郎委員



4 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶 速水雄一委員長 (雲南市長)
- 3) 出席者紹介
- 4) ビジョン冊子の贈呈
- 5) 議事
 - ①第1回委員会以降の取組経過の報告
 - ②平成 25 年度のプロジェクトの実施状況について
 - ③平成 26 年度の実施プロジェクト (案) について
 - ④広報の実施状況について
 - ⑤水源地域ビジョンの推進スケジュール (案) について
 - ⑥その他
- 6) 閉会

5 配布資料

- ・資料-1 : 第1回委員会以降の取組経過の報告
- ・資料-2 : 平成 25 年度のプロジェクトの実施状況
- ・資料-3 : 平成 26 年度の実施プロジェクト (案)
- ・資料-4 : 広報の実施状況
- ・資料-5 : 水源地域ビジョンの推進スケジュール (案)
- ・尾原ダム水源地域ビジョン冊子、概要版
- ・参考資料 : 助成事業の情報、ダム見学ツアー情報

6 議事要旨

1) 議事

①第1回委員会以降の取組経過の報告

- ・第1回委員会以降の取組経過の報告について、事務局より資料に沿って取組経過の報告を行い、資料－1で承認された。

②平成25年度のプロジェクトの実施状況について

- ・平成25年度のプロジェクトの実施状況について、事務局より資料に沿って実施状況、効果、課題と今後の対応などの説明を行い、資料－2で承認された。
- ・資料p.36の写真（さくらおろち湖祭り見学の様子）は良い写真なので、関係者に配布して欲しい。
- ・地球温暖化に伴い、近年異常気象による想定を越える降雨などにより、各地で被害が多発している状況であり、ダムを含む治水施設の必要性を啓発する講演会（例 気象予報士）等をプロジェクトの一環として実施を検討して頂きたい。

③平成26年度の実施プロジェクト（案）について

- ・平成26年度の実施プロジェクト（案）について、事務局より資料に沿ってH26年度の実施予定の説明を行い、資料－3で承認された。
- ・「日本一プロジェクト」の実施内容は、ダム堤体や堤頂道路などを活用した取組を検討する。

④広報の実施状況について

- ・広報の実施状況について、事務局より資料に沿って広報の実施状況の説明を行い、資料－4で承認された。

⑤水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）について

- ・水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）について、事務局より資料に沿って今後のスケジュールの説明を行い、資料－5で承認された。

⑥その他

- ・今年は尾原ダム運用後、最大の大雨に見舞われた。大雨によって、ダム湖の水位がどの程度上昇したのか、またどの程度の規模の放流がされたかなどについて、斐伊川放水路が初めて活用されたことも併せて、状況が分かるような写真や動画等を下流域の方に見せてPRする検討をすること。
- ・今後、ケーブルテレビを活用した広報を進める。
- ・「さくらおろちを活性化する会」という作業部会名であるが、名称は非常に重要である。本名称は、WGで決めた通称であるが、PRする際は正式名である「尾原ダム」、「さくらおろち湖」を使用していく。

2) 今後の予定等

- ・規約に基づき、本日の審議要旨をとりまとめ、委員長の了承を得た上で、議事要旨と会議資料をホームページに公開する。

2) 第2回推進委員会委員意見への対応状況

No.	主な意見	対応状況
1	ダムを含む治水施設の必要性を啓発する講演会（例 気象予報士）等をプロジェクトの一環として実施を検討して頂きたい。	○ダムを含む治水施設の必要性を啓発する講習会の開催を検討している。
2	「日本一プロジェクト」の実施内容は、ダム堤体や堤頂道路などを活用した取組を検討する。	●日本一に関するイベントの事例を収集・整理し、「さくらおろちを活性化する会」で共有した。具体的には、食を対象とした「日本一のおにぎりを食べる会 in 古湯温泉」や「鉄火巻き日本一大会」、施設や自然環境を活用した「プラネタリウム長寿日本一」や「日本一の星空ナイトツアー」などが開催されていた。一方、小ささに着目した「日本一小さな花火大会」なども開催されている。 ○来年度以降、具体的な実施内容等を検討していく。
3	斐伊川放水路が初めて活用されたことも併せて、状況が分かるような写真や動画等を下流域の方に見せてPRする。	●斐伊川放水路への分流ごとに記者発表を実施している。 ●「ふれあい放水路第 207 号（2014 年 1 月発行）」で初めての分流の状況や効果等を公表するとともに、HP にも掲載している。 ●ライブカメラを 4 基設置し、HP で公表している。
4	今後、ケーブルテレビを活用した広報を進める。	●尾原ダム周辺で実施しているイベント情報（「企業 CSR 活動」や「トレイルランニング大会」の様子など）をケーブルテレビで広報している。

●対応済、○対応中



ふれあい放水路第 207 号

●分流堰左岸下流(左岸下流付近)

分流堰左岸下流(左岸下流付近)の最新の河川映像と水位を提供しています。

[河川映像提供]



ライブカメラ（分流堰左岸下流）

2. さくらおろちを活性化する会の活動報告

1) 平成 26 年度の実施スケジュール

年月		尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 さくらおろちを活性化する会	議事事項等
平成 25 年度	11 月	第 2 回推進委員会【11/11】	・平成 25 年度のプロジェクトの実施状況について ・平成 26 年度の実施プロジェクト（案）について ・水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）について
	12 月		
	1 月	第 3 回さくらおろちを活性化する会【1/22】	・第 2 回推進委員会の討議内容の確認 ・さくらおろちを活性化する会の進め方 ・H26 年度 年次計画（案）の確認
	2 月		
	3 月	第 4 回さくらおろちを活性化する会【3/17】	・さくらおろちを活性化する会の今後の進め方 ・プロジェクトの今後の展開 ・広報の実施状況の報告 ・情報交換 ・今後のスケジュールの確認
平成 26 年度	4 月		・案内看板の設置（雲南県土整備事務所管内における整備状況の報告、高野 IC からのルート上における設置場所の検討） ・写真コンテストの開催（実施方法、募集テーマの検討） ・さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化
	5 月	第 5 回さくらおろちを活性化する会【5/26】	
	6 月		
	7 月		・案内看板の設置（ポスターの掲示範囲、認知度向上に向けた検討） ・写真コンテストの開催（方向性の検討、実行委員会の立ち上げ） ・第 3 回推進委員会に向けた実績などのとりまとめ方法
	8 月	第 6 回さくらおろちを活性化する会【8/11】	
	9 月	第 7 回さくらおろちを活性化する会【9/30】	・写真コンテストの開催（実施内容の確認） ・アンケート調査の実施状況 ・日本一に関連するイベントの事例 ・クズの駆除や有効活用策の事例
	10 月		
	11 月	第 8 回さくらおろちを活性化する会【11/19】	・平成 26 年度のプロジェクトの実施状況 ・平成 27 年度の実施プロジェクト（案）
	12 月	第 3 回推進委員会【12/15】	・平成 26 年度のプロジェクトの実施状況について ・平成 27 年度の実施プロジェクト（案）について ・水源地域ビジョンの推進スケジュール（案）について
	1 月		
	2 月	第 9 回さくらおろちを活性化する会【予定】	・第 3 回推進委員会の討議内容の確認 ・さくらおろちを活性化する会の今後の進め方 ・個別プロジェクトの検討
	3 月		

2) 実施状況



第5回活性化する会（5月26日）

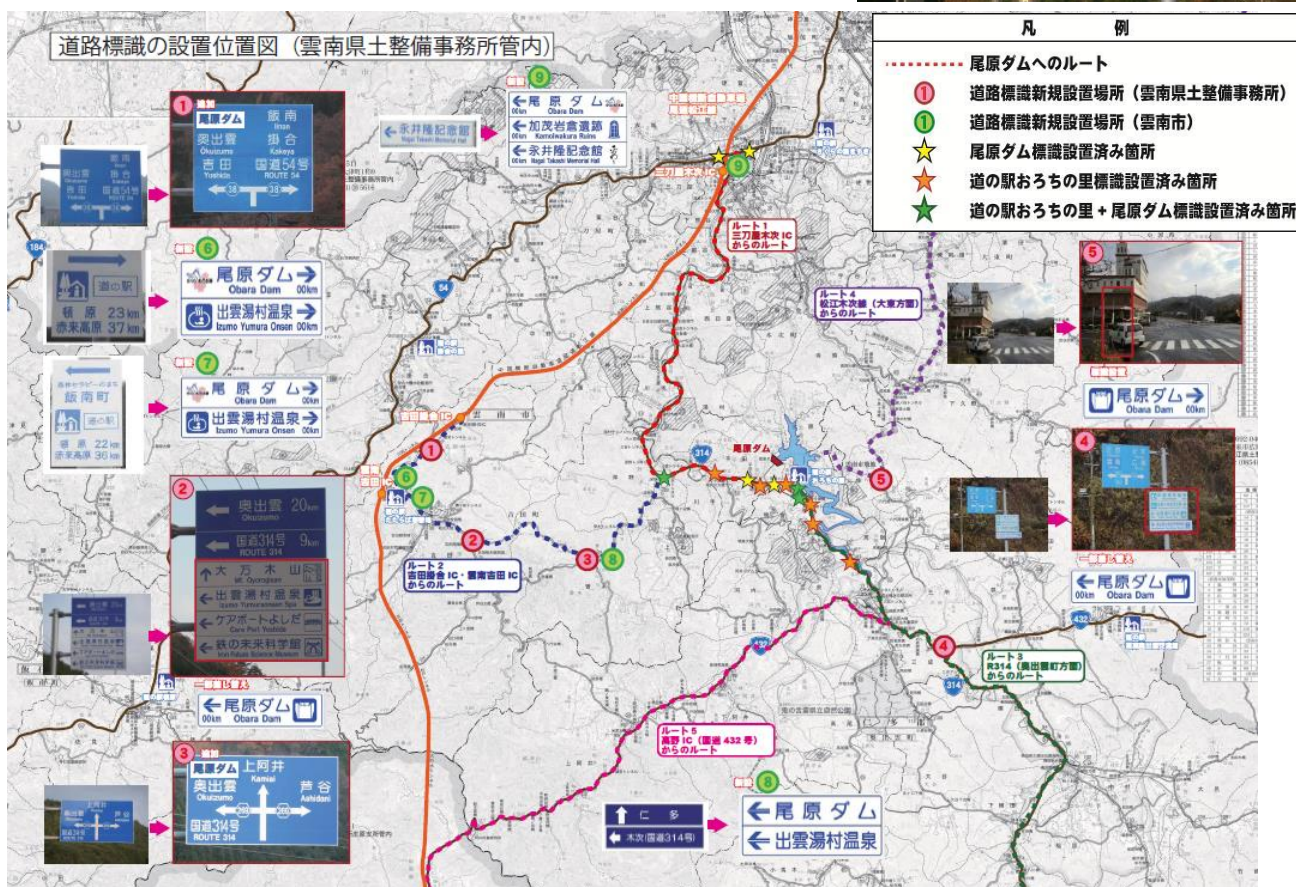


第7回活性化する会（7月30日）

(1) 案内看板の設置

【道路標識】

- ・尾原ダムから2時間圏域の広域については、島根県が5ヶ所、雲南市が4ヶ所に道路標識を設置したとの報告が行われた。
- ・高野ICルートについては、ルート上に3ヶ所の道路標識を設置する案を提案し、了解された。今後は案に基づいて、関係行政機関で調整を進める。



【ポスターの掲示】

①ポスター掲示の目的

- ・尾原ダムとその周辺地域への来訪を促すためには、尾原ダム等の認知度向上と主要拠点からの適切な誘導が必要。
- ・主要拠点からの適切な誘導については、道路標識の設置位置等について協議し、整備を実施。
- ・尾原ダム等の認知度向上を図るために、観光客等が立ち寄る施設にポスターを掲示。ポスターには、尾原ダムの魅力的な写真と周辺地域で開催されるイベント情報、尾原ダムまでのマップを掲載。

②道路標識・ポスターの役割

■道路標識

- ・主要交通拠点から尾原ダムまでの案内を実施。ただし、道路標識の設置数量や設置場所には限界がある。

■ポスター

- ・尾原ダムの魅力を発信するとともに、道路標識の補完として、尾原ダムまでの案内を実施。
- ・更新作業の容易性を踏まえ、最新の季節の写真やイベント情報を掲載。

③ポスターの掲示範囲

- ・尾原ダムから2時間圏域（尾原ダム水源地域ビジョンの広報範囲に準拠）

④今後の検討内容

- ・観光客は広島・岡山・大阪・兵庫など、かなり遠方から訪れる。ポスターは2時間圏域内に限らず、もっと広範囲で掲示を検討する。
- ・ポスターのデザイン等については、さくらおろちを活性化する会で検討していく。

【案内看板】

- ・尾原ダム周辺地域について、雲南市と奥出雲町が独自デザインの看板を9ヶ所に設置していく。
- ・案内看板では、交通規制及びイベント情報の提供を目的としている。



案内看板

(2) ビューポイント・写真撮影スポットの発掘

- ・「ビューポイント、写真撮影スポットの発掘」の一環として、写真コンテストを企画・実施した。
- ・写真コンテストの開催にあたっては、「さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会」を立ち上げ（事務局：さくらおろちを活性化する会）、募集内容や審査方法等について議論した。
- ・募集用のポスター・チラシを作成し、10月19日に開催されたさくらおろち湖祭りで配布を開始するとともに、行政機関や道の駅などでチラシを配布している。

【写真コンテストの概要】

- ・コンテストの名称 「さくらおろち湖写真コンテスト」
- ・主催・共催・後援
主催：さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会
共催：さくらおろちを活性化する会
後援：雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省出雲河川事務所
- ・キャッチコピー あなたの感じたビューポイント
- ・部門 特に設けない。
(2回目以降は状況を見て検討)
- ・募集期間 10月19日（さくらおろち湖祭り）～5月29日
- ・募集方法 データでの応募も可
- ・募集作品数 一人様5点まで



募集チラシ



実行委員会（8月29日）

さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会 委員

（敬称略）

所 属 等	氏 名	備 考
NPO法人さくらおろち	亀山 一敏	
NPO法人奥出雲布勢の郷	宇田川 和義	
木次写真クラブ	若槻 愛二郎	
全日本写真連盟奥出雲支部	宇田川 好美	
フォーカス佐白	安部 勲	
横田フォトクラブ	田中 利博	

(3)「日本一」プロジェクトの企画・実施

- ・「日本一」プロジェクトを企画するために、全国各地で実施されている「日本一」に関連するイベント等の情報を収集した。
- ・収集した情報を参考に、尾原ダム水源地域で実施可能な内容を検討していく。

【さくらおろちを活性化する会における意見】

- ・尾原ダムの選択取水の設備形式は「全国初」である。また「水中放流」も珍しい。
- ・堤体が大きくきれいであるため、堤体を活用した映像映写イベント「日本一の堤体プロジェクター」や「日本一美しい堤体」など検討する。
- ・尾原ダムは、観光庁認定のサイクリングコースとして「全国初」で選ばれている。
- ・必ず「日本一」である必要はないが、新規性と地域団体との連携を重視して地域活性化に結び付けていく。

「日本一」イベントの主な事例

イベント名	「日本一」の対象	団体名	実施場所	概要
みどりかわ湖どん ど祭り	日本最大級のどんどや	緑川ダム	熊本県下益 城郡美里町	・日本最大級のどんどやを目指している。 ・やぐらの高さはなんと 20m が 3 基あり、壮観 ・「みどりかわ湖どんど祭りフォトコンテスト」も実施
ブラネタリウム長 寿日本一	ブラネタリウムの稼働期 間	明石市立天文 科学館	兵庫県明石 市立天文科学 館	・稼働期間が 52 年 80 日(19074 日)となり、「長寿日本一」となり、これを記念した長寿達成の式典および前夜祭を実施する。
日本一のおにぎりを 食べる会 in 古 湯温泉	霊峰富士のごとく「日本 一のまちづくり」を目指 している 販売額と販売枚数日本一 の「佐賀海苔有明海一番」	古湯温泉旅館 組合青年部	佐賀県佐賀 市富士町	・富士山世界文化遺産登録にあやかり「日本一のおにぎりを食べる会」を開催する。 ・販売額、販売枚数とも日本一を誇る県産のりの最高級ブランド「佐賀海苔有明海一番」を使っておにぎりを作る
日本一の星空ナイ トツアー	H18 環境省の全国星空 継続観測認定「星が最も 輝いて見える場所」	ヘブンスその はら	長野県阿智 村	・博物館施設による日替わりプログラムを実施。
鉄火巻き日本一大 会	鉄火巻きの最長記録をつ くる	三崎まぐろ鉄 火巻実行委員 会	神奈川県三 崎市	・今年は鉄火巻き 550mの日本記録を達成。 ・メバチまぐろ 90kg、シャリ 220kg、海苔 550mを使用。 ・巻き手 1250 人、一般ボランティアの方を含む 250 人以上が参加。
日本一小さな花火 大会	日本一小さな花火大会	みなかみ町観 光協会	群馬県利根 郡みなかみ 町湯宿温泉	・線香花火を皆で楽しむ里山の小さな花火大会。
“RUN フェス” ～春の RUN 祭り ～	日本一ゆる～いランニン グイベント	RUN フェス実 行委員会事務 局	東京都江東 区(夢の島競 技場)	・細かいタイムは気にせず走ることを単純に楽しんで、参加した皆さんが笑顔いっぱいになることを目指す、ランニングとエンターテインメントを融合させた日本一ゆる～いランニングイベント。

（４）クズ等の駆除や有効活用策の検討

- ・「クズ等の駆除や有効活用策」を検討するために、各地で実施されている駆除や活用策の事例を収集した。
- ・収集した情報を参考に、尾原ダム水源地域で実施可能な内容を検討していく。

【さくらおろちを活性化する会における意見】

- ・「クズのつるの長さを競う」コンテストを開催すると、クズの駆除にも繋がるのではないかと。堤体から吊るすなど、堤体も活用できる。
- ・野草灰（ミネラル）を商品化している松江市の会社が、クズを収集している。

「クズ等の駆除や有効活用策」の事例

実施団体	実施場所	活動概要
(財)奈良県中小企業支援センター	奈良県奈良市	・リキュールの開発や有効な栽培法の確立を研究。 ・H17年、地域結集型研究開発プログラムの一環で実施。
富原婦人林業研究クラブ（地元の女性グループ）	岡山県真庭市富原地区	・野草を用いた製品づくり（除草した「クズ」を活用し、健康増進作用が期待できる商品開発を試行）。 ・草花利用についての観察学習会の実施。
NPO法人美しい村小川・絆のネットワーク	長野県小川村	・高機能性食品づくりの試み（日立環境財団助成を活用） ・葛根の採集と葛粉精製、お茶やパウダーなどの試作 ・レストランや製菓会社との連携。
掛川手織葛布組合など	静岡県掛川市周辺	・静岡県掛川市周辺で、伝統的な「掛川葛布」を製造・販売。
東京工科大学・応用生物学部	東京都八王子市	・屋上緑化への応用により熱環境を改善させる研究